

土浦市真鍋における蓮田と鳥除けネットの分布

A Spatial Study on Lotus Field and Prevention Net in Manabe district, Tsuchiura City

橋本 暁子 (博士後期課程地球環境科学専攻)

HASHIMOTO Akiko (Doctoral Program in Geoenvironmental Sciences)

1. 研究目的

1970 年代以降、霞ヶ浦湖岸では稲作の生産調整政策と転作奨励金の交付に伴って水田から蓮田への転換が起こり蓮根作付面積が拡大した。現在、霞ヶ浦湖岸で栽培された蓮根は全国の蓮根の 3 割を占める。しかし近年では霞ヶ浦湖岸に飛来する鴨が増加し、対策として蓮田に鳥除けネットが設置されている。本研究では、蓮根栽培地域内、住宅地内、稲作地域内の蓮田と鳥除けネットの分布から、周辺の状況を踏まえた蓮田の管理方法を考察する。

2. 対象地域

対象とする真鍋は旧水戸海道(現 R354)沿いにある。真鍋を東西に貫く県道 344 号沿いにはロードサイドショップが並ぶが、通りの北側には蓮田や蓮田を埋め立てて建てたと思われるアパートが林立する。また、真鍋の東側に接する木田余は現在も蓮根栽培が盛んな地域であるが、真鍋の西側に接する殿里では水田が広がる。すなわち、真鍋は蓮根栽培地域と稲作地域の間であり、宅地開発が進んだ地域である。

3. 調査方法

鳥除けネットは水田ごとあるいは水田の一部に設置されるが、住宅地内では蓮田と稲作用の水田との区別がなく、また田と田の境界が曖昧である。①これらを明確に示すため GPS を用いて水田の区画ごとにウェイポイントを取得した。②蓮の有無を記録した。③鳥除けネットの有無および鳥除けネットを設置するためのポールの有無を記録した。



写真 蓮田にかけられた鳥除けネット

4. 結果

①蓮田は真鍋の東部(真鍋新町)に 10 か所、中央部(東真鍋町・真鍋三丁目・真鍋一丁目)に 16 か所、西部(西真鍋町・真鍋二丁目)に 6 か所分布していた。②蓮根が残る水田は東部 3 か所、中央部 3 か所、西部 4 か所であった。③鳥除けネットは中央部 1 か所、西部 2 か所であった。鳥除けネットを設置するためのポールは東部 0 か所、中央部 8 か所、西部 2 か所であった。

5. 考察

①真鍋の東部(蓮根栽培地域内)の蓮田では鳥除けネットおよびポールがない。線路に近いためと考えられる。②中央部(住宅地内)では鳥除けネットおよびポールの設置個所が多い。車通りが少ないため鴨が飛来しやすく、また住宅地の合間にあるのでゴミ除けも兼ねる。③西部(稲作地域内)では車通りが少ないうえ、区画が広く水田の合間にあつて鴨が飛来しやすいためネットおよびポールの設置個所が多い。

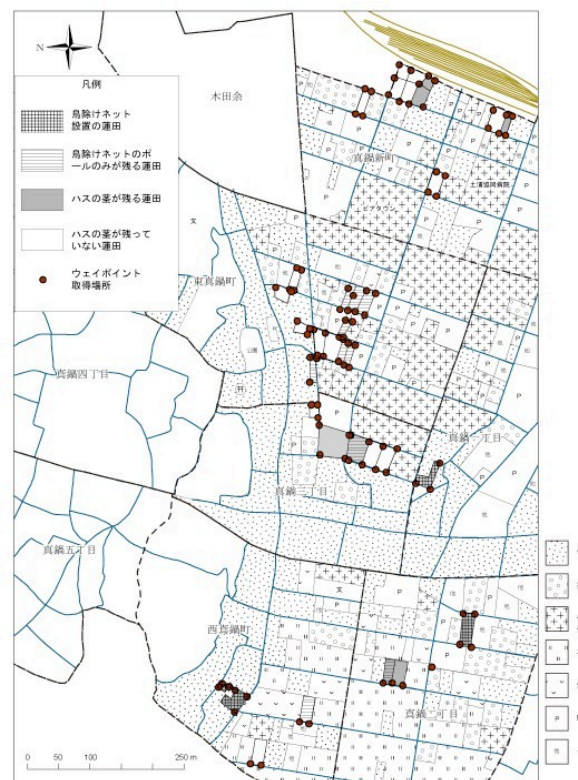


図 土浦市真鍋における蓮田と鳥除けネット設置個所の分布